

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
 取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 施工業者様へ

**!** 給水フィルターは、専用止水栓に内蔵されています。  
 給水不具合をきたしますので、必ず専用止水栓を取り付けてください。

### 試運転で必ず実施してください

**●便器洗浄をして水たまり面が低下する場合**

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。  
 ※低下すると汚物付着の原因になります。  
 水たまり面が低下した場合は、設定変更にて対応してください。

水たまり面が低下する場合の対応方法 ➡ **取り付け後の確認事項 14** を参照ください。

**●自治体によって洗浄水量の規制がある場合**

大洗浄4.8L、小洗浄3.6L、eco小洗浄3.4L仕様を下記水量に変更することができます。  
 大洗浄 6L、小洗浄 4.8L、eco 小洗浄 4.6L 仕様への切替方法 ➡ **取り付け後の確認事項 15** を参照ください。  
 大洗浄 8L、小洗浄 7.5L、eco 小洗浄 7L 仕様への切替方法 ➡ **取り付け後の確認事項 16** を参照ください。


**●給水フィルターの掃除をしてください。** ➡ **試運転後の確認事項 12** を参照ください。

**●便器に水が流れ続ける場合（給水の音が止まらない場合）**

樹脂タンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。  
 便器に水が流れ続ける場合の対応方法 ➡ **取り付け後の確認事項 17** を参照ください。




## 安全に関するご注意 （安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。  
 この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。  
 その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

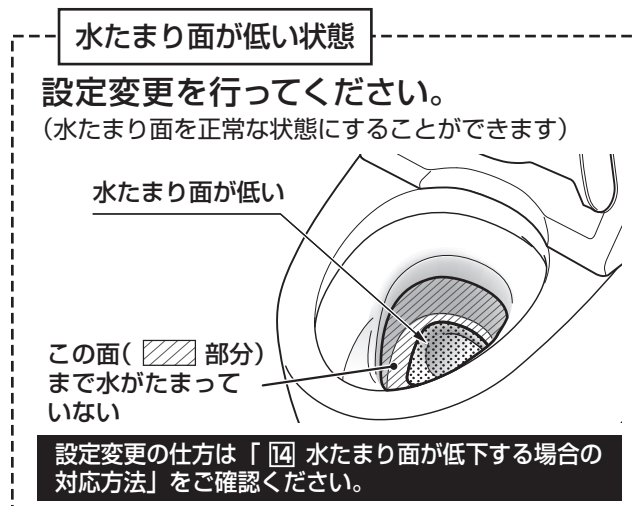
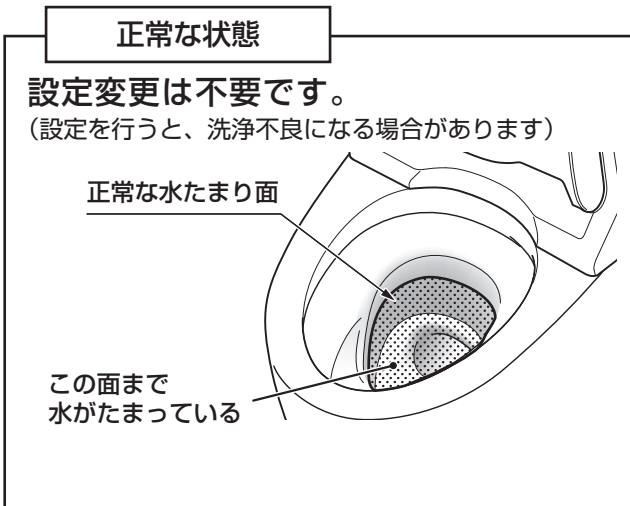
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。  
 お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	<b>⊘</b> は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		<b>!</b> は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	---	---	--

 <b>注意</b>	
 <b>禁止</b>	<b>陶器および樹脂タンクに強い力や衝撃を与えない</b> 破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない</b> 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない</b> 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>ヒーターコードをタンクふたで挟んで設置しない</b> 設置した場合、タンクふた落下によるけが、断線によるやけど、感電、火災、凍結の原因になります。
 <b>必ず実行</b>	<b>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	<b>設置工事は、この説明書に従って確実にを行う</b> 故障や水漏れの原因になります。

## 11 水たまり面の確認

- ・ 止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
  - ・ 2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ※洗浄した際、約1分程度水が流れます。止水不良ではありません。  
ただし、便器に水が流れ続ける場合は、24ページ **17** を参照ください。



〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

# 取り付け後の確認事項

## 14 水たまり面が低下する場合の対応方法

① 止水栓を閉めて給水を止める。



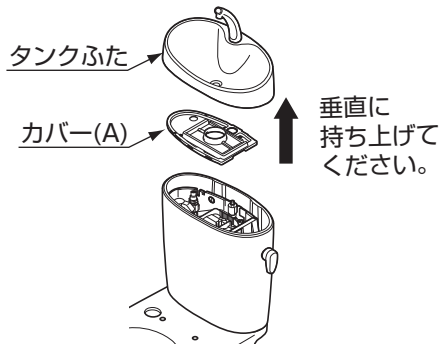
動画を見る

施工手順

[https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/pure\\_ex\\_1.htm](https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/pure_ex_1.htm)



② タンクふたとカバー(A)を外す。



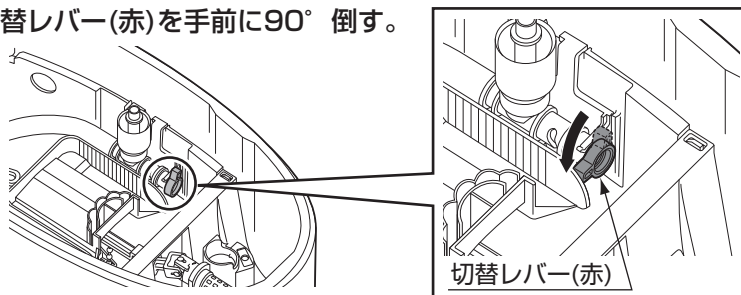
⚠ 注意



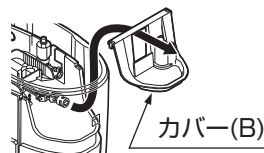
必ず実行

タンクふたは落とさないように注意する  
破損してけがをするおそれがあります。

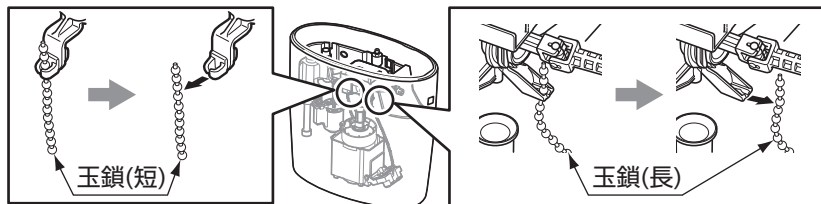
③ 切替レバー(赤)を手前に90° 倒す。



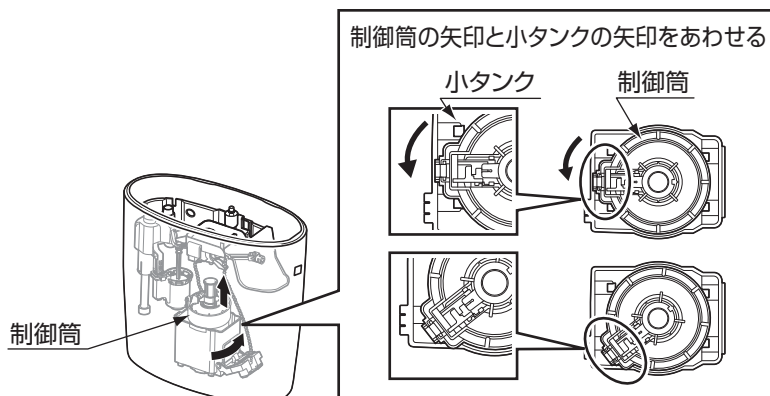
④ レバーハンドルを取り外し、カバー(B)を取り外す。



⑤ 玉鎖を外す。



⑥ 制御筒を反時計回りに回して外す。



注意

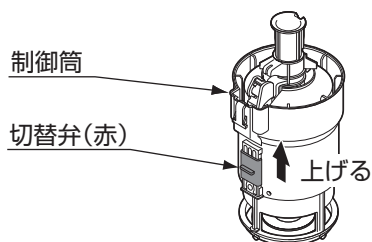
制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷をつけないようにしてください。

次ページにつづく ➡

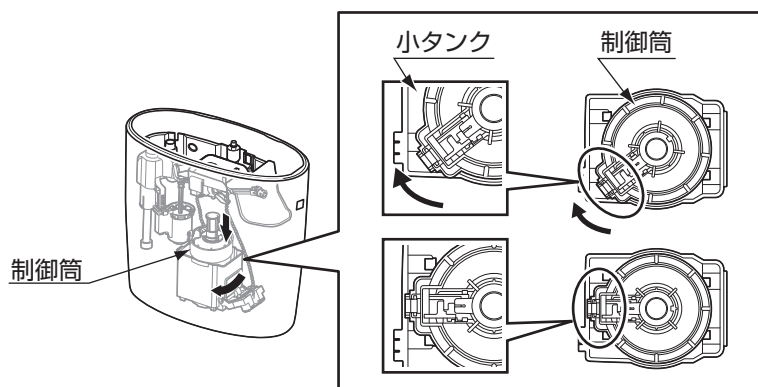
# 取り付け後の確認事項

## 14 水たまり面が低下する場合の対応方法 (つづき)

7 制御筒横の切替弁 (赤) を上げる。

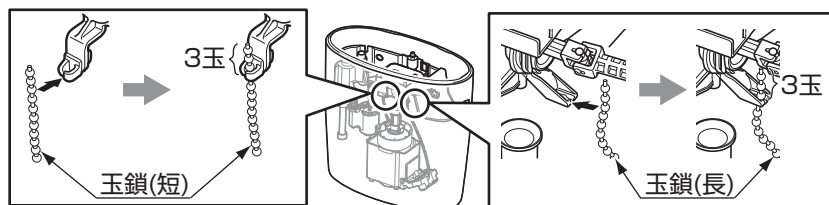


8 制御筒を時計回りに回して取り付ける。



9 玉鎖を3玉余して取り付ける。

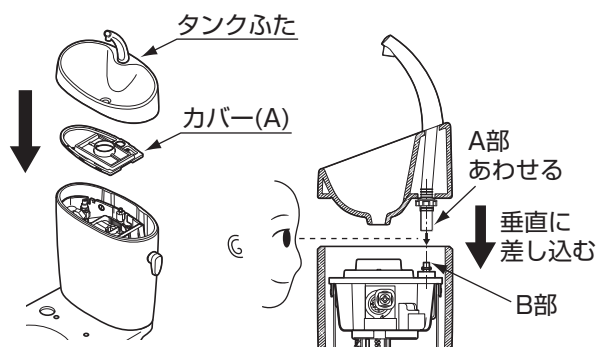
正しく取り付けないと止水不良になります。



10 カバー(B)とレバーハンドルを取り付ける。

11 カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



### ⚠ 注意



必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む  
確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

12 取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ 洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。